

ぼくの夢 わたしの夢



—夢は“漫画家”—

石神小学校6年 いわさき はると 岩崎 晴大

僕の夢は漫画家になって、たくさんの人に作品を読んでもらうことです。

僕は3年生のときに、「ドラえもん」で有名な藤子・F・不二雄さんの漫画に出会いました。その話はとても面白くて、読んでいてわくわくしました。このことがきっかけで、僕は本気で漫画家になりたいと思うようになりました。

ドラえもんの話の中に、「君はこれからも何度もつまずく。でもそのたびに立ち直る力を持っているんだよ」という言葉があります。これは、40年後ののび太が現代の自分に向けて伝えた言葉です。僕も、のび太のようにすぐに失敗してしまふことがあります。この言葉にとっても勇気づけられ、これからも頑張ろうという気持ちになりました。将来は、読んだ人の心を動かすような作品を作り、多くの人に楽しんでもらいたいです。

ちびっこ美術館

「風を作ったよ」



優しい色合いのすてきな風を作ってくれたのは、凷ちゃん(6才)。色がはみ出ないように細い筆を使って丁寧に描くことができたチョウがポイントとのこと。頑張った風を見ながら、「風揚げするのが楽しみ!」と話してくれました。



舟石川保育所
はぎやしずく 萩谷 凷ちゃん

集まれ! TOKAI Kid's 新成人スペシャル

2020.02

成人の日を迎えて

東海村成人の集い 実行委員 にしのはるか 西埜 遥香さん



20歳の私。これからも、出会った人たちとの縁を大切にしたいです。

小さい頃に憧れていた“20歳”の自分とはほど遠いですが、両親やたくさんの人に見守られ、無事に20歳を迎えることが

できました。小学校、中学校、高校、そして社会人と、数えきれないほどの出会いに恵まれてきた私は、現在介護士として働いています。介護士は、利用者の自立を助け、「人生の最期」まで思いやりを持って寄り添う仕事で、とても誇りに思っています。これからも、焦らずゆっくりと自分の目標に向かって頑張りたいです。



幼稚園の頃の私。漠然と“20歳”の自分に憧れていました。



▲成人の集い実行委員会の皆さん